

お客様各位

2022年7月6日
北興化学工業株式会社

変更登録のお知らせ

平素より弊社製品をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

此の度、2022年7月6日付で下記農薬の適用が変更登録されましたので、お知らせ致します。

農薬名

第23847号 *Dr. オリゼパディート粒剤*

適用変更の内容

- 作物名「稲（箱育苗）」の使用量に「高密度には種する場合は1kg/10a(育苗箱(30×60×3cm、使用土壌 約5L) 1箱当り 50～100g)」を追加する。
- 作物名「稲（箱育苗）」の使用時期「移植3日前～移植当日」の適用病害虫名に「コブノメイガ」を追加する。

【変更後の適用内容（変更する作物のみ抜粋）】

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアントレリプロールを含む農薬の総使用回数	プロパナザールを含む農薬の総使用回数
稲（箱育苗）	いもち病 イネドロオイムシ イネミズゾウムシ ツマグロヨコバイ ヒメトビウンカ	育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌 約5L) 1箱当り 50g	緑化期～ 移植当日	1回	育苗箱の 苗の上から均一に 散布する。	1回	2回以内(移植 時までの処理 は1回以内)
	ニカメイチュウ フタオビコヤガ コブノメイガ イネツトムシ		移植3日前 ～移植当日				
	イナゴ類 イネヒメハモグリバエ		移植当日				
	いもち病 イネドロオイムシ イネミズゾウムシ ツマグロヨコバイ ヒメトビウンカ コブノメイガ ニカメイチュウ フタオビコヤガ イネツトムシ	高密度に は種する場合 は1kg/10a (育苗箱(30× 60×3cm、使用 土壌約5L)1 箱当り 50～ 100g)	移植3日前 ～移植当日				
	イナゴ類 イネヒメハモグリバエ		移植当日				

次ページへ続く

前ページから続く

【変更後の使用上の注意事項（追加部分）】

- ・ 薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように処理を行うこと。
- ・ 育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約 5L）1 箱当りに乾糶として 200 から 300g 程度を高密度には種する場合は、10a 当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が 1kg/10a までとなるよう、育苗箱 1 箱当りの薬量を 50 から 100g までの範囲で調整すること。

変更登録後の製品情報の詳細はこちら [（農薬製品・安全データシート（SDS）一覧）](#) からご参照下さい。

以上